

東日本大震災への支援活動について(第4報)

東日本大震災の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

エバラ食品工業株式会社(社長:藤川雍中 本社:横浜市)は、被災地に調理設備を備えた大型キャラバンカーを派遣し、各自治体の災害対策本部や現地のボランティアセンターから要請を受けた避難施設、仮設住宅、学校などを巡り、炊き出しによる支援活動を行っております。

3月から7月までは、主に各避難施設での炊き出しを行ってまいりました。

9月からは、学校給食の支援と、仮設住宅での炊き出しおよび商品の無料配布を行っております。

これまでに、宮城県や岩手県の277ヶ所で、約108,000食をご提供してまいりました。

□ 避難所での炊き出し

5月までは、温かい食べ物、バランスのとれた食事が求められていたことから、野菜やお肉を沢山召し上がっていただける「ちゃんこ鍋」をご提供いたしました。6月からは元気が出るメニューのご要望が多く寄せられたため、当社の「黄金の味 中辛」と「黄金の味 具たくさん」で味付けをした「焼肉丼」を炊き出しのメニューに加えました。

避難所の規模の大小にかかわらず、必要とされる場所で、ご要望に応じた炊き出しを行い、7月末までに、避難施設167ヶ所で、約75,700食の炊き出しを行ってまいりました。

日程	平成23年 3月22日(火)～7月15日(金)	
場所	宮城県、岩手県の各避難施設	167ヶ所
内容	「ちゃんこ鍋」	59,927 食
	「焼肉丼」	14,892 食
	「カレー」	925 食
	計	75,744 食



□ 学校給食の支援、仮設住宅での炊き出し

9月からは、キャラバンカーで調理した「焼肉・野菜炒め」や「焼肉丼」を、現地の行政機関やボランティアセンターと連携して、ご要請いただいた地域の小学校・中学校や、近隣の仮設住宅にご提供する活動を行っております。

給食センターの損壊などにより、学校給食のおかずが十分に供給されていない地域からのご要請が多く寄せられたため、給食のおかずとしての「焼肉・野菜炒め」や、運動会・文化祭といった学校行事の際のお弁当として「焼肉丼」をご提供しております。あわせて近隣の仮設住宅に入居されている方々への「焼肉丼」のご提供と、弊社商品「黄金の味 具だくさん」の無料配布も行っております。

日程	平成23年 9月6日（火）～ 11月30日（水）	
場所	宮城県、岩手県の小・中学校および 近隣の仮設住宅	110ヶ所
内容	「ちゃんこ鍋」	10,427 食
	「焼肉丼」、「焼肉・野菜炒め」	20,658 食
	「カレー」	1,500 食
		計 32,585 食
	「黄金の味 具だくさん」の無料配布	計 14,352 個



エバラ食品工業株式会社は、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。